

農作物病害虫発生現況情報（9月）りんどう編

1 葉枯病

(1) 9月中旬の巡回調査での発生圃場率は83.3%（平年24.7%）、採花部での発生圃場率は75.0%（平年8.1%）で、ともに平年より高かった（図1）。

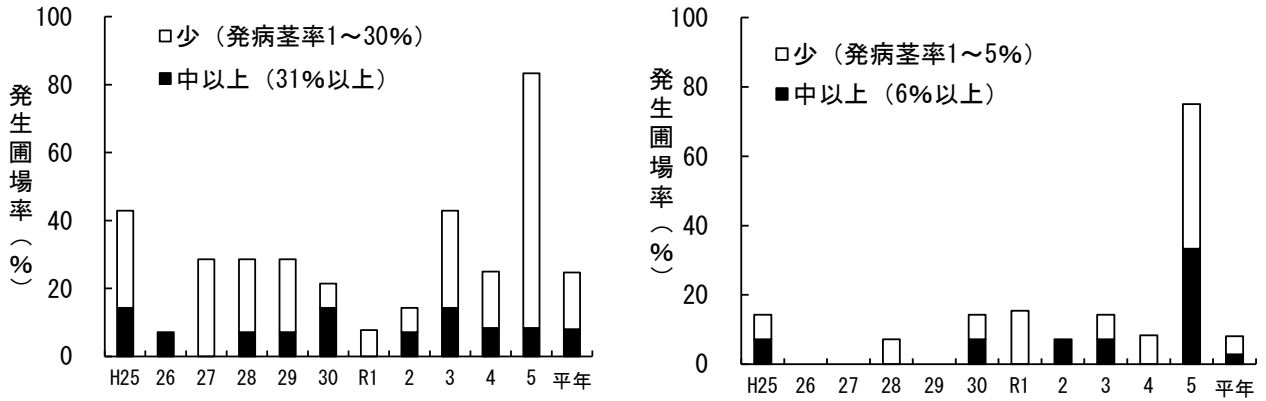


図1 葉枯病の発生圃場率の年次推移（左：発病茎率、右：採花部での発病茎率、9月中旬）

2 褐斑病

(1) 9月中旬の巡回調査での発生圃場率は25.0%（平年8.9%）で、平年より高かった（図2）。

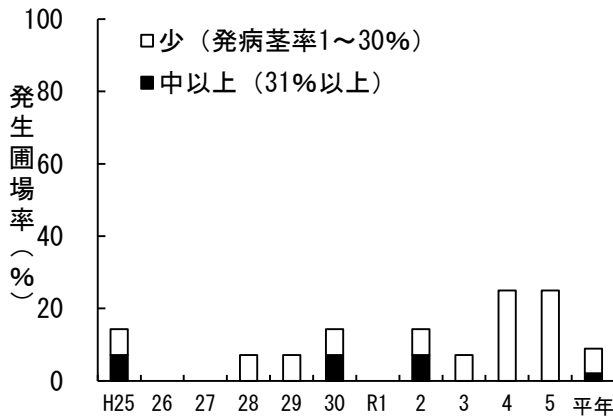


図2 褐斑病の発生圃場率の年次推移（9月中旬）

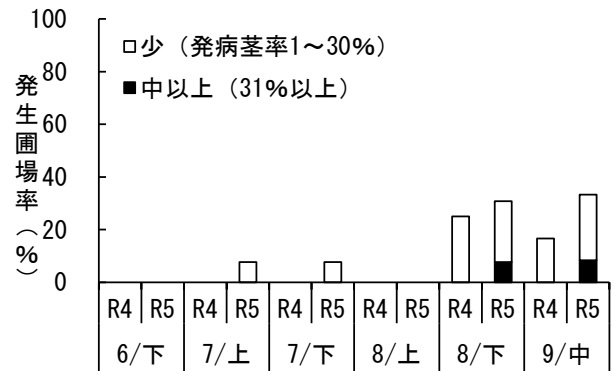


図3 黒斑病の発生圃場率の時期別推移

3 黒斑病

(1) 9月中旬の巡回調査での発生圃場率は33.3%（平年値なし）で、発生程度の高い圃場も確認された（図3）。

4 花腐菌核病

- (1) 9月中旬の巡回調査での発生は確認されなかった（平年5.1%、図4）。
- (2) 9月25日現在、八幡平市安代において子実体は確認されていない。

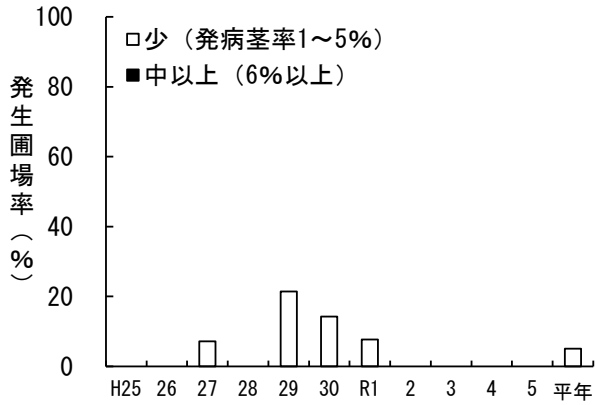


図4 花腐菌核病の発生圃場率の年次推移（9月中旬）

5 ハダニ類

- (1) 9月中旬の巡回調査での発生圃場率は33.3%（平年27.8%）で平年よりやや高かった（図5）。

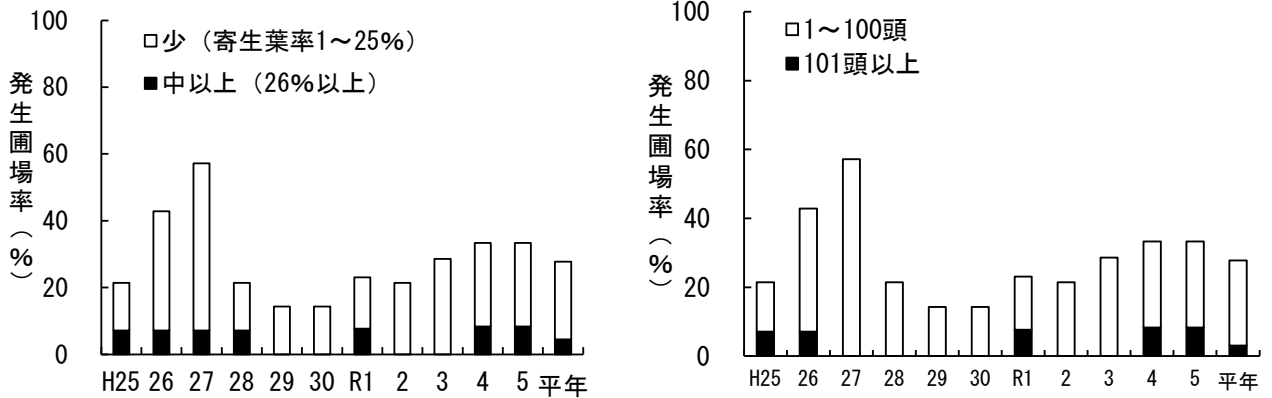


図5 ハダニ類の発生圃場率の年次推移（左：寄生葉率、右：寄生虫数/80葉、9月中旬）

6 リンドウホソハマキ

- (1) 9月中旬の巡回調査での潜葉痕の発生圃場率は16.7%（平年40.3%）で、平年より低く、生長部および茎部の被害は確認されなかった（平年16.5%、図6）。

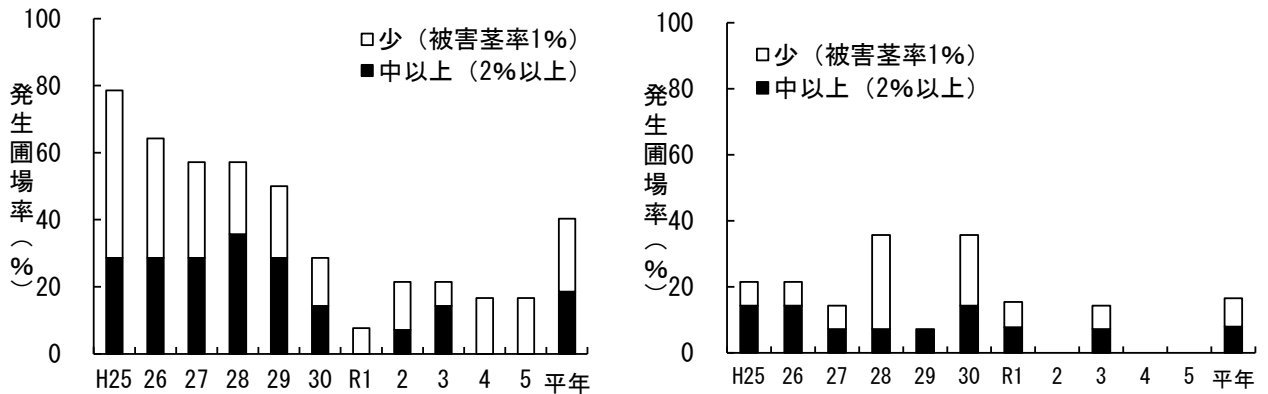


図6 リンドウホソハマキの発生圃場率の年次推移（左：潜葉痕、右：生長部・茎部、9月中旬）

7 アザミウマ類

(1) 9月中旬の巡回調査での発生圃場率は30.8% (平年43.8%) で、平年よりやや低かった (図7)。

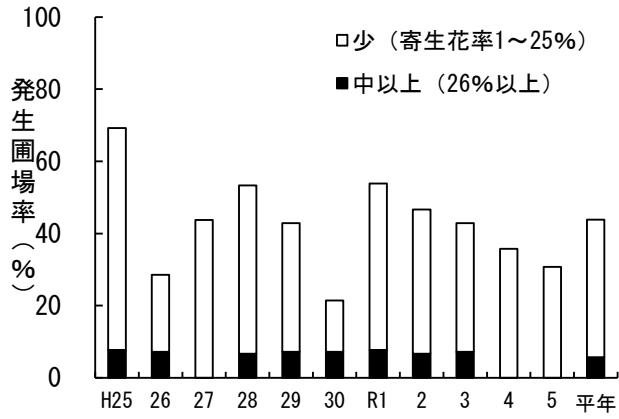


図7 アザミウマ類の発生圃場率の年次推移
(9月中旬)

8 アブラムシ類

(1) 9月中旬の巡回調査での発生は確認されなかった。